

秋山信茂

Akiyama Nobushige
Exhibition

展



想念の束

想像の軌跡は描かれた地図の様 旅程の景色が紙に印された

2018年1月6日(土) - 4月8日(日)

特別講座 | アーティスト・トーク 1/6(土) 10:00 - 11:00 申込不要/無料

開館時間 | 10:00 - 18:00

休館日 | 月・火曜日 *ただし1/8(月祝)・2/12(月祝)は開館し、
1/10(水)・2/14(水)を振替休館します。

臨時休館日: 2/19(月) ~ 22(木)

観覧料 | 無料

主催 | 富士市

主管 | 一般社団法人富士芸術研



ふじ・紙のアートミュージアム

Fuji Paper Art Museum

〒416-0953 静岡県富士市藤原町 1750 番地 富士市文化会館ロゼンアター 1 階 TEL 0545-32-6581 FAX 0545-32-6582 <http://www.fuji-paperart.jp>

秋山信茂 展

Akiyama Nobushige
Exhibition

想念の束

想像の軌跡は 描かれた地図の様
旅程の景色が 紙に印された

「秋山信茂展－想念の束－」は秋山氏の長年に渡る紙への想いが感じられる展覧会です。秋山氏は東京造形大学造形学部彫刻科で彫刻を学び、卒業後イタリア国立ローマ美術アカデミー彫刻科にて研鑽を積み、ブロンズ・石・木などの素材を使った彫刻を制作してきました。その後、ローマにアトリエを構え制作に励む中、その制作スタイルを変えたのは紙との出会いでした。それを機に手漉き和紙の歴史や技法を学び、日本の伝統文化の素晴らしさに感銘を受け、自ら紙を漉くまでになり、作品の素材として紙が生かされるようになりました。長年に渡り作り続けている表現方法は彫刻家としての実力と紙を知り尽くした経験が生み出したものです。これからも秋山氏はとどまることなく作品を作り続け、新たな世界を切り開いていくことでしょう。イタリアで評価の高いアーティストである秋山氏の作品はきっと皆さんの心に響くと思います。

2018年1月6日(土)－4月8日(日)

特別講座 **アーティスト・トーク** 1/6(土) 10:00－11:00 申込不要/無料

開館時間 | 10:00－18:00
休館日 | 月・火曜日 *ただし1/8(月祝)・2/12(月祝)は開館し、1/10(水)・2/14(水)を振替休館します。
臨時休館日: 2/19(月)～22(木)

観覧料 | 無料

主催 | 富士市
主管 | 一般社団法人富士芸術村



思考は手考だった。そして紙考し紙工した。

彫刻家は手で考える。
頭で考えたことを手で作るのだから、考えるのは頭だろうと言われそうだが、人間は手にする道具で思考が変わる。手にする道具で素材に語るさせる彫刻家は、頭で考える前に手に持った道具が思考に影響する。

秋山信茂のことは東京造形大学入学のときから知っている。入学当初から熱心に粘土塑造: clay modeling に取り組んでいた。粘土に親指を押し付けるとき、頭は親指の腹で思考する。鋭く尖った鉄ペラを手にした瞬間、頭は尖った鉄ペラで思考する。

粘土塑造はそのままではもろいので、ブロンズに铸造するなどして塑像: bronze statue になる。大学3年頃から彼はブロンズ铸造にのめり込んでいく。粘土という不安定な素材、塑造という永遠に終わらせないでいられる技法に、決着をつけるために選んだ方法だ。確かな存在感のブロンズという素材、帰結点が見極められる铸造という技法は、塑造作家の当然のゴール地点でもあるが、彼は素材の仕上結果だけを求めたのではない。粘土に比べるとはるかに複雑なブロンズ铸造の、この工程の手間こそが彼の思考に大いに刺激を与えたのだ。

大学を卒業した彼はローマに赴く。国立ローマ美術アカデミーに学び、やがて彼の地の国際彫刻コンクールなどで、何度も受賞しているというのが耳に入ってくるようになる。しかし、どのような作品だったのかは聞き漏らしているうちに、彼の手はもう石を彫り始めていた。すでに種々の国際石彫シンポジウムにも招待されていた。足し算: modeling で造形する塑造と違って、塊から引き算: carving で造形する石彫は、彼の手を通してまた新たな思考を刺激したのである。

何も無い空間に手で何かを付け足していく技法と、空間に存在する塊から手で削りだしていく技法と、彫刻家は古来よりいずれか一方を自分の得意としてきた。しかし、彼はその両方を自分の手を通して思考し続けた。

その彼が突然、和紙を素材に表現を始めた。画家や書家なら和紙が目前にあれば直ぐに筆先から発想するだろう。裂く、ちぎる、丸める、切る、貼るなら幼児でもやるだろう。しかし、彫刻家の彼は和紙の抄造(しょうぞう)までたどって思考した。modeling とお carving とお全く異なる技法に遭遇し、彼の手はまた新たな思考を求めた。ローマと越前を何度も往復して和紙の流し置きを会得した手は、彼の思考の幅をまた大きく広げた。

秋山信茂は4人の手で思考する。指とペラで粘土を付け足しする塑造家の手と、铸型にブロンズを铸込みタガネで仕上げる铸造家の手と、鑿岩機とノミとハンマーで石を削る石彫家の手と、澁垢(すきけた)を掃らす手漉き師の手と、彼は4人別個の手の回路で思考して、尚且つ一人である。見たことありそうな仏像と比較するつもりは決してないが、1つの体に4つの頭と8本の手を持つ彫刻家が秋山信茂である。

秋山信茂の思考は手考の連続だ。そして今は紙考し紙工する。「ふじ・紙のアートミュージアム」でその成果を見せる。行かない手はない。

2018年 初春 三木俊治(彫刻家)



秋山 信茂 1961 横浜生まれ
1985 東京造形大学彫刻科卒業
1986 イタリア国立ローマ美術アカデミー彫刻科に学ぶ

個展

- 2001 ショールーム "In-Argo" s.n.c. イタリア・カッラーラ
- 2002 ギャラリー Space Kobo&Tomo 東京・銀座
在イタリア・ミラノ日本国総領事館 イタリア・ミラノ
- 2005 ローマ三越 イタリア・ローマ
- 2007 卯立の工芸館 福井県・越前市
ギャラリー Space Kobo&Tomo 東京・銀座
"Pescheria delle Rocca" イタリア・ルーゴ
- 2008 Kunstverein "Talstrasse" e.V. ドイツ・ハレ
ギャラリー元町 横浜・元町
- 2010 ギャラリー "Artipelago" イタリア・カステル・ヌオーヴォ・ディ・ポルト
- 2011 Museo Pietraia dei Poeti イタリア・サン・ベネデット・デル・トロント
- 2012 Palazzina Azzurra "Scultura Viva" イタリア・サン・ベネデット・デル・トロント
ルイーダ・サッコ現代美術研究調査機関 イタリア・ローマ
- 2014 "ジュゼッペ・トゥッチ" 国立ローマ東洋美術館 イタリア・ローマ
- 2015 旧アツピャ街道州立公園・元ラティーナ製紙所 イタリア・ローマ
- 2017 トスコラーノ・マデルノ紙の博物館 イタリア・トスコラーノ・マデルノ
ブティック "クリストフル・バリ" イタリア・ローマ

和紙関連ワークショップ・デモンストレーション、舞台芸術

- 2006 ワークショップ、日本月間「ニッポニカ」 イタリア・ポローニャ
- 2007 ワークショップ、日本月間「ニッポニカ」 イタリア・ガッレゼ
ワークショップ、「十月日本祭」 イタリア・ルーゴ
- 2010 演劇舞台芸術「葵」於アゴラ劇場 イタリア・ローマ
- 2011 デモンストレーション、「緩慢なプロセスと素材」展に於いて
ローマ国立大「ラ・サピエンツァ」建築学部 イタリア・ローマ
- 2012 ローマ近代美術館 児童教育講座「和紙」 イタリア・ローマ
クラシック・コンサート舞台芸術「山椒一仁・ヴァイオリン・コンサート」
ローマ日本文化会館 イタリア・ローマ
デモンストレーション、ナッツァーノ市文化習慣「手を知っている事」
市立フェーメ博物館 イタリア・ナッツァーノ
デモンストレーション、「スクルトゥーラ・ヴィーヴァ」に於いて
イタリア サン・ベネデット・デル・トロント
ワークショップ 文化交流「トンボの島」
DOOZO どうぞ・art book & sushi イタリア・ローマ
演劇舞台芸術「葵」於エレットラ劇場 イタリア・ローマ
- 2013 児童教育講座「和紙」、ローマ国立近代美術館 イタリア・ローマ
児童教育講座「折り紙」、ローマ国立近代美術館 イタリア・ローマ
ワークショップ、文化交流「トンボの島」
DOOZO どうぞ・art book & sushi イタリア・ローマ
「本美漉紙」デモンストレーション アマルフィ造船博物館
アマルフィ・美濃市文化交流 イタリア・アマルフィ
- 2014 演劇舞台芸術・衣装「サド侯爵夫人」(三島由紀夫) エレットラ劇場 イタリア・ローマ
ワークショップ ローマ国立美術アカデミー イタリア・ローマ
デモンストレーション ローマ日本文化会館 イタリア・ローマ
ワークショップ 日本月間「ニッポニカ」 イタリア・ポローニャ
デモンストレーション・ワークショップ「ジュゼッペ・トゥッチ」国立東洋美術館
イタリア・ローマ
ワークショップ ローマ日本人学校 イタリア・ローマ
- 2015 ワークショップ 日本月間「ニッポニカ」 イタリア・ポローニャ
演劇舞台芸術「六条夫人」於エレットラ劇場 イタリア・ローマ
デモ・ワークショップ 旧アツピャ街道州立公園 元ラティーナ製紙所 イタリア・ローマ
- 2016 ワークショップ フォッジャ国立美術アカデミー イタリア・フォッジャ
ワークショップ MAXXI 国立美術館 イタリア・ローマ
ワークショップ 日本文化交流協会「ふじ会」 イタリア・プレーシャ
デモンストレーション ローマ植物園 イタリア・ローマ
ワークショップ ギャラリー「Incisione」 イタリア・プレーシャ
トスコラーノ・マデルノ紙の博物館 イタリア・トスコラーノ・マデルノ

グループ展

- 1997 「コンフィーニ(境界)」展 イタリア在住日本人芸術家5人展
イタリア・モンテチッカルド
イタリア・フェッラーラ
- 1998 「流れ星」展 イタリア・バッサノ・イン・テベリーナ
「フィエラルテ」展 イタリア・アラートリ
- 1999 「和一作品間の調和」展 イタリア・チヴィタノーバ・マルケ
「ウンベルト・マストレヤンニ国際彫刻賞」展 イタリア、チッタ・ディ・マリーノ
第17回「フィレンツェ賞」彫刻部門銀賞受賞 イタリア・フィレンツェ



- 2000 第15回「イタリア賞」彫刻部門展覧会賞受賞 イタリア・フィレンツェ
「世界のインフィオーラタ」展(花びらで描く絵) イタリア・ローマ・ポポロ広場
常滑彫刻シンポジウム「世界へ」参加 日本・愛知県常滑市
第8回「エクスボ・アルテ」参加 イタリア・フェッジャ
「イタリア賞視覚芸術からのアルバム」展
元カルミネ修道院跡アート・スペース イタリア・フィレンツェ
「紙と現代美術一紙のエネルギー」展
国立美術アカデミー・ポローニャ イタリア・ポローニャ
「三千年紀の中の聖書の描写」展
サンタ・マリア・イン・モンテサント教会 イタリア・ローマ
- 2001 「呼び覚まされる現実と表現された現実」展
バスクイヌッチ煉瓦工場跡アート・スペース イタリア・カプラーイア
「NIPPON-フィレンツェでの日本人芸術家たち」
ブルネレスキの間一教皇見聞録 イタリア・フィレンツェ
「フィレンツェの日本人芸術家達の現代美術」展
ギャラリー アート・ポイント・ブラック イタリア・フィレンツェ
「洞爺村国際彫刻ビエンナーレ」展 日本・北海道洞爺村
「3番目の千年紀での紙の世界」展 国立民族伝統芸術博物館 イタリア・ローマ
- 2002 「秋山信茂・秋山康恵彫刻展」町田市立美術館・市民芸術室 日本・東京町田
「博物館都市-現代美術7」展
ボビッレ・エルニカ市立博物館 イタリア・ボヴィッレ・エルニカ市
「森の中の美術展」中ノ沢美術館 日本・前橋
「日本・インドアート・シンポジウム」参加 日印国交樹立50周年記念
インドラプラスタ公園 インド・ニューデリー
- 2003 「日本・インド-シンポジウム・アート」展 日本・刈谷
- 2004 「3番目の千年紀での紙の世界」展
サン・フランチェスコ教会 イタリア・セッラ・ベトローナ
「ヴェニテ・アドレムス」展 サンタ・マリア・モンテサント教会 イタリア・ローマ
- 2005 「洞爺村国際彫刻ビエンナーレ」展 日本・北海道洞爺村
- 2006 「穂の喜び」展 ローマ日本文化会館 イタリア・ローマ
紙と透かしの博物館 イタリア・ファブリアーノ
市立織物博物館 イタリア・プスト・アルシィーツィオ
「Tra(c)arte」国際紙芸術展 デルモンテ銀行基金 イタリア・フォッジャ
第7回「国際芸術家の本」展 カサナテンセ図書館 イタリア・ローマ
第5回「芸術家の本ビエンナーレ」展 市立図書館 イタリア・カッシーノ
- 2008 「国際芸術家の本」展 商業施設「アルキ」 イタリア・カッシーノ
「芸術家の本 歴史・新しい表現・異色な素材」展
現代美術センター イタリア・カタンザーロ
「Tra(c)arte」国際紙芸術展 デルモンテ銀行基金 イタリア・フォッジャ
Neuer Sächsischer Kunstverein e.V. ドイツ・ドレスデン
Galeria BWA Design ポーランド・ワークロー
- 「オープン・スペース」展 国際芸術家60人
ルーマニア国立美術アカデミー イタリア・ローマ
- 2009 「Tra(c)arte」国際紙芸術展 デルモンテ銀行基金 イタリア・フォッジャ
「本の形の芸術」展 サン・ニコロ・ギリジャ修道院跡 イタリア・グロッタ・フェッラータ
「本と著者の世界記念」展 イタリア下院議員図書館 イタリア・ローマ
芸術家の本「記録の中の文書」展 アルベルト・サビーノ図書館 イタリア・ローマ
- 2010 「Tra(c)arte」国際紙芸術展 デルモンテ銀行基金 イタリア・フォッジャ
「芸術家の本」展 版画・グラフィック・アートセンター イタリア・フォルメッロ
「スクルトゥーラ・ヴィーヴァ」彫刻シンポジウム参加
イタリア・サン・ベネデット・デル・トロント
「愛ーランドマーク」展 愛知県・刈谷
- 2011 「Tra(c)arte」国際紙芸術展 デルモンテ銀行基金 イタリア・フォッジャ
「アルテ・インシエメ 2011」 Museo Pietraia dei Poeti
イタリア・サン・ベネデット・デル・トロント
「現代」展 ギャラリー・コンテボラネアローマ イタリア・ローマ
- 2012 「アルテ・インシエメ 2012」 Museo Pietraia dei Poeti
イタリア・サン・ベネデット・デル・トロント
- 2013 「第5回現代日本彫刻作家展」東京都美術館 東京・上野
「声」ローマ現代美術 Museo Laboratorio d' arte Contemporanea イタリア・ローマ
「アルテ・インシエメ 2013」 Museo Pietraia dei Poeti
イタリア・サン・ベネデット・デル・トロント
「シルヴィア・スタッキー写真展」(特別出品) Associazione "TraleVOLTE" イタリア・ローマ
- 2014 「第6回現代日本彫刻作家展」東京都美術館 東京・上野
「アルテ・インシエメ 2014」 Museo Pietraia dei Poeti
イタリア・サン・ベネデット・デル・トロント
「彫刻コンクール・ピエトラリアー・ディ・ポエーティ美術館」第3位受賞
イタリア・サン・ベネデット・デル・トロント
- 2016 「Oltre i libri」展 国立アンジェリカ図書館 イタリア・ローマ
- 2017 「フクロウの芸術」展 トルローニア邸公園 カーサ・デッレ・チヴェッテ イタリア・ローマ
「アルテ・インシエメ 2017」 Museo Pietraia dei Poeti
イタリア・サン・ベネデット・デル・トロント



ふじ・紙のアートミュージアムは、紙を素材とした芸術作品を展示します。そして、「つなげる・つながる」をテーマに芸術文化活動をしています。当ミュージアムが拠点となり、富士市全体がミュージアムになることを願っています。

2016年11月1日 開館

- 【交通】東名富士インターチェンジより約2.3km、国道1号より約2.2km、新富士駅より約2.2km、富士駅より約2.6km
 バスの場合はJR富士駅(北口バス停)から15分「ロゼシアター入口」下車 徒歩2分
 新幹線 JR 新富士駅(北口バス停)から15分「ロゼシアター前」下車
 ※発車時刻によって到着するバス停が異なりますのでお乗りの際はご注意ください。
- 【駐車場】富士市文化会館ロゼシアターの駐車場をご利用ください。
 ※ロゼシアター開催の公演により混雑する場合があります。



ふじ・紙のアートミュージアム
 Fuji Paper Art Museum

〒416-0953 静岡県富士市豊原町1750番地 富士市文化会館 ロゼシアター1階
 TEL 0545-32-6581 FAX 0545-32-6582 <http://www.fuji-paperart.jp>